



# 山本勘介

# 信玄と富士

④



△代信寺にある山本勘介と伝えられる木像

勘介が信玄に仕えた年は、信玄が父信虎を駿河へ追放した二年後に当たり、その頃、信玄は信州攻略作戦の最中で、一人でも多くの有能な武士が欲しかったのです。勘介は、片方の目と足が不自由

だったといえます。しかも四十三歳という壮年から信玄に仕えたにもかわらず、彼の期待によくこたえ、その年の内に、早くも九つの城を攻め落したといえます。山本勘介はその後も数々の合戦で手柄を立てましたが、彼の実績の第一は、なんといっても城造りです。彼は長い間の諸国遍歴で多くの城を見聞し城造りの技術を身につけていたのです。勘介の造った城は、現在も多く残っています。例を上げると、桜の名所として有

名な伊奈の高遠城、島崎藤村の詩「千曲川旅情」で知られる小諸城そして、川中島の合戦の舞台となった海津城などがそれです。世に有名な川中島の合戦は、永禄四年（一五六一）九月十日に行なわれましたが、この戦いで勘介は、最も良策として進言した作戦が上杉謙信に見破られ、一時武田軍を苦戦に陥れた責任感から、自ら敵陣に突っこみ壮烈な最期をたげました。信玄に仕えて十九年目、享年六十一歳と伝えられています。

セミの季節になりましたね。土中の生活を終えたセミたちは、穴から出て親になります。セミは、幼虫のときは木の根から親になると木の幹から汁を吸って生きています。「チーチー」、「シャンシャン」と大きな声で鳴くけれど、車などの騒音とは違いますね。

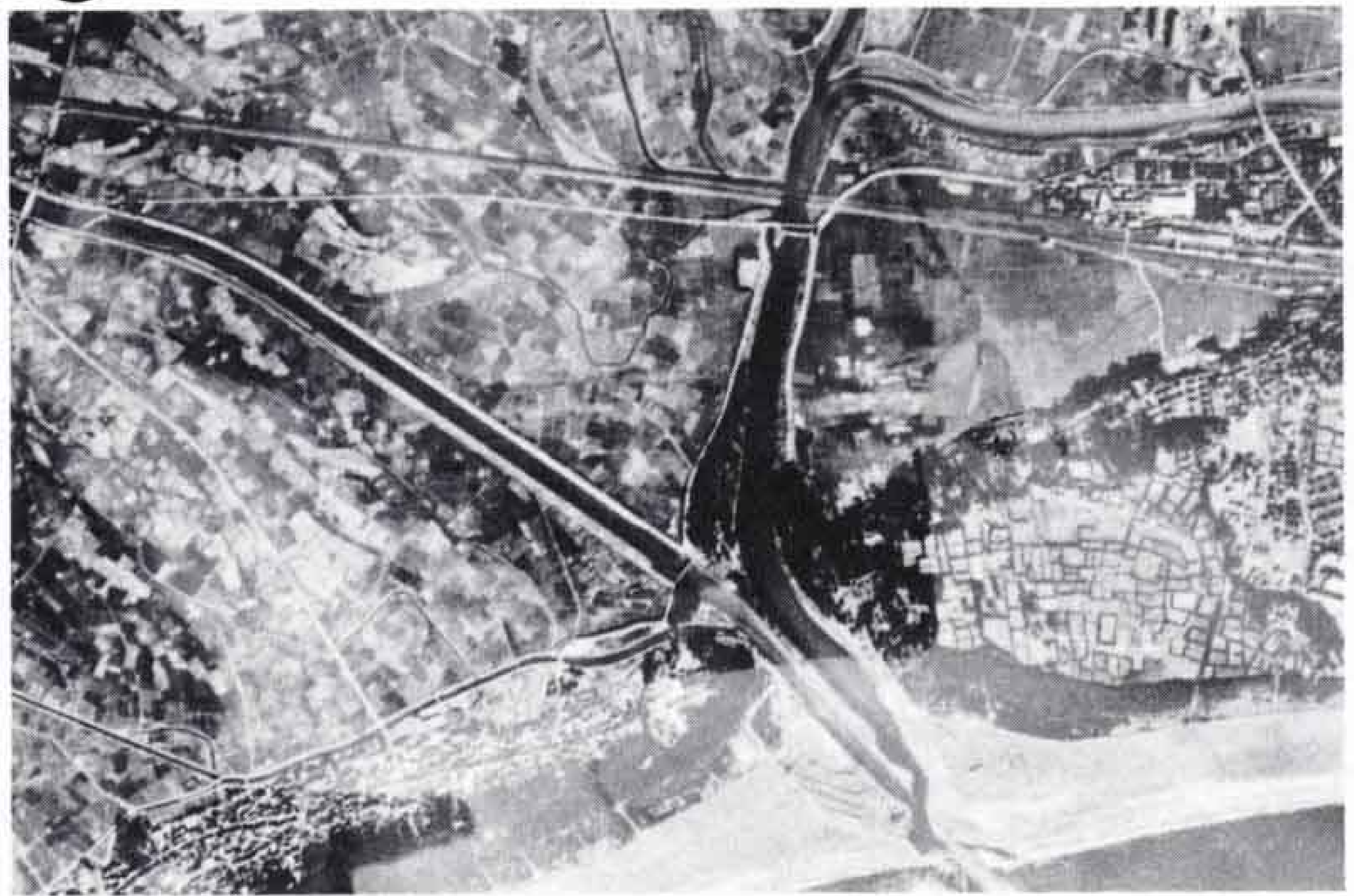
# 富士の今と昔

④



今 港ができて洪水がなくなった

昔 5本の川が合流して海へ注ぐ築港前の田子の浦



田子の浦港のすぐ西で生まれ育った亀井泉さん(前田)のお話。

「江川にはカニやシジミがたくさんいて、おかずにしたね。魚もいろいろいたし…。毘沙門さんのときは、沼川に臨時の渡し場ができて船で行ったよ。一番の思い出は台風だね。台風が来ると河口が砂でふさがり田んぼが水につかることがよくあった。浮島の方からも人が来て川切り(河口の砂を取り除き水を海に流す)をやったね。」



みどりご保育園 長組のお友だちは、木やくぎを使って船を作りました。「わたし金づちで手を打っちゃった。この船をプールに浮かべて遊ぶの。うしろの絵は海の魚だよ。」



# こちら編集室